事 務 連 絡

令和 ４年12月５日

都県試験研究機関 野菜試験担当者 殿

関東東海北陸農業試験研究推進会議 野菜部会事務局

令和４年度 関東東海北陸農業試験研究推進会議 野菜部会の開催について

日頃から当地域野菜研究の推進にご協力をいただき、誠に有難うございます。

令和４年度 関東東海北陸農業試験研究推進会議 野菜部会を令和４年12月15日(木)に宇都宮市にて開催することを予定いたしております。つきましては、資料作成等についてお知らせいたします。

貴職におかれましては、各都県の関係者にご周知いただくとともに、別紙１にあります資料をとりまとめの上、下記の部会事務局宛にご提出くださいますようお願い申し上げます。

なお、この文書や様式等は、中日本農業研究センターWebサイト内の関東東海北陸農業試験研究推進会議ページの開催予定ページにも掲載する予定です。

https://www.naro.go.jp/laboratory/carc/contents/suishin\_kaigi/

ご不明な点がございましたら、下記事務局までお問い合わせください。

野菜部会事務局：

農研機構 中日本農業研究センター

研究推進部 事業化推進室 伊藤 陽子

Tel: 029-838-7158、Fax: 029-838-8574

e-mail：khh-yasaijimu@nafo.affrc.go.jp

別紙

令和３年度 関東東海北陸農業試験研究推進会議 野菜部会

資料作成要領および提出方法

１．資料の種類、記載様式と提出方法など

作成いただく資料は、下記の５種類です。

様式２～５は、PDFに変換したファイルか、またはWordやPowerPointの原稿ファイルを、メール添付で部会事務局宛に提出してください。

会議資料は、例年と同様の形式で取りまとめたものをPDFファイルとして参加者の方に配付します。関係者限りの閲覧専用資料とします。

　資料等の種類と様式、提出期限、提出先は以下の通りです。

1)　参加申込書

　参加される方の所属、役職、氏名、メールアドレスを様式１に記入し、ご提出ください。参加申込いただいた方のメールアドレス宛てに会議資料、Web会議室アドレスを送ります。アドレスにお間違いのないよう十分にご確認お願いします。

なお、所属、役職、氏名を記載した参加者名簿を、会議の参加者に配付します。

2)　研究成果

　A4版１～２ページ。様式2、3を参考に作成下さい。都県で生産者あるいは普及指導員に研究成果を説明する独自資料があれば、その様式をご利用下さい。

　内容については、今年度の研究成果、昨年度の会議に未提出の成果（様式2、研究成果情報）、これまでに提出した成果で普及実績があるもしくは普及の目処が立ったもの（様式3、普及成果情報）、とします。

　都県ごとの提出数に上限はありません。

3)　技術カタログ（旧最新農業技術・品種20XX）

本年度より「最新農業技術・品種20XX」は「技術カタログ」に変更となりました。つきましては【様式】R4\_技術カタログ.pptxをご利用いただき、作成願います。

既に農政局宛に提出なさっているものについては、そのまま送って下さい。

なお、内容については、当初「みどり戦略に係る課題」という面が強く打ち出されておりましたが、現場で役に立つ技術であれば、みどり戦略と関連がなくても積極的に出して欲しいとのことです。

4)　分野における研究情勢

　様式自由、A4版1～2P。

　本年度については、特にテーマを設けておりません。都県における重要課題等ございましたら紹介下さい。

参考：令和3年度テーマ等

・CO2ゼロエミッション化等の「みどりの食料システム戦略」に関連した各都県での取り組み（メインテーマ）

・今年度新たに獲得した競争的資金による研究課題・内容

・今年度新たに開始した研究課題・内容

・今年度発生した野菜の生産・流通上における問題点等

・「スマート農業」に関する内容

・新型コロナウイルス感染症拡大による影響等

※既に作成済みの都県については、特に修正する必要はありません。

5)　その他要望事項等

　様式自由、A4版1～2P。

　関東東海北陸農業試験研究推進会議の他部会、あるいは野菜花き試験研究推進会議等への要望事項等があれば、様式自由でご記入いただきご提出ください。

２．　技術的課題の中から取り上げて欲しいものがありましたら、資料送付の際にお知らせ下さい。こちらで纏めて資料を作成いたします。

　提出先　：　野菜部会事務局メールアドレス　　kth-yasaijimu@naro.affrc.go.jp

　提出期限：　2022年12月12日